

THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Sow the Seeds of Love

「ロータリー：慈愛の種を播きましょう」

「ロータリーで喜びを！ー参加しよう、友達になろう、クラブライフを楽しもうー」

2002～2003年度・国際ロータリーテーマ／ビチャイ・ラタクル会長

2002～2003年度・東京新南ロータリークラブテーマ／吉田用親会長

【本日の例会】10月25日 第768回例会

◎卓話

「炭の効用」

(株)新菱エコビジネスカーボンエコカンパニー
取締役副社長 志 眞 岳 之 氏

【先週報告】10月17日 第767回例会

◎卓話「ドロボーの実体と防犯対策」

美和ロック株式会社

顧問 稲 田 淳 夫 氏



◎会長報告

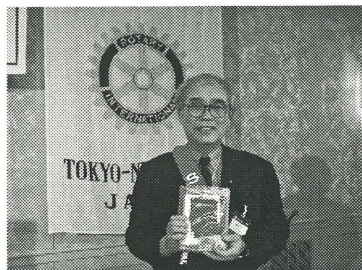
①2004～2005年度ガバナー・ノミニー確定宣言

松崎勝一ガバナーより、「標記の件に関して、国際ロータリー細則第13条に基づく手続きが完了し、2004～2005年度ガバナー・ノミニーに東京港南RC会員仲田順和氏が確定したことを宣言します。」との報告がありました。

②片倉章雄ガバナー補佐、高橋公郎グループ幹事から、2002～2003年度千代田グループI Mは中止になったとの連絡がありました。

◎慶事披露

米山功労者表彰／藤後幸生君



誕生日祝 福島賢哉君 (10月23日)

◎職業奉仕委員会報告 (荒木委員長)

先週の例会時に、第2750地区職業奉仕委員会作成の小冊子「ロータリーの職業奉仕」を全会員に配布致しました。難しいと言われる職業奉仕について大変解り易くまとめられた資料ですので、10月の職業奉仕月間のこの機会に皆様ご一読をお願いします。

◎親睦活動委員会 (西澤会員)

新会員歓迎会 (10/31) のご案内は前回しておりますが、ご回答がまだの方が沢山おられます。より多くのご参加をお待ち致します。

◎出席報告

会員68名／出席47名・欠席21名 (出席規定免除者7名)



10月18日／8件 21,000円

2002～2003年度累計 535,000円

多額の御寄付を有難うございました。

福島賢哉／お誕生お祝い有難うございました。55才、クラブライフをこれからも楽しませて頂きます。大日方真／先週の例会欠席しました。オーストラリアに出張してましたので。入沢頼二／トルコに行って来ました。東洋と西洋の文化の十字路を味わって来ました。荒木昭文／武下さん、こんにちは。山下忠治／武下さん、ニコニコ担当ご苦労様です。関征春／武下さん、ニコニコご苦労様です。藤後幸生／武下さん、ニコニコご苦労様です。武下朗／本日は、ニコニコ担当です。沢山のニコニコ有難うございます。

トピックス

当クラブからアイメイト (盲導犬) の寄付をしているアイメイト協会理事長の塩屋賢一氏がヘレンケラー・サリバン賞を受賞しました。

「塩屋氏は1957年国内で初めて盲導犬を育て上げ、日本の『盲導犬の父』とも呼ばれる。視覚障害者の支援に貢献した人に東京ヘレンケラー協会が贈る賞に輝いた。道で転ぶ視覚障害者を見て、ペット犬の訓練士から盲導犬の育成に転身した。東京盲導犬協会を設立し、89年には『私の愛する目の仲間』という意味を込めアイメイト協会と改称。育てた盲導犬は八百六十頭を超える。現在、常時十人の指導員が七十頭を訓練する。今では訓練の手法が確立し、期間も三ヶ月と短くなった。だが、『大切なのは心を込めること』との信念は変わらない。」 (読売新聞10月21日朝刊から抜粋)

「胃無い、胃無い」の話

クラブメンバーも相当入替わって、私の胃の無いこともご存知ない方が多いと思うので、(めんぼう)を通じてこの件、自己紹介させて頂く次第。

扱、それは平成2年(1990年)12年前のこと、毎年の定期健康検診で「大きな問題点無し、但し肥り過ぎに注意」との警告が続いていたが、此の年に限って会社の検診とは別に、何の自覚症状もないのに、のどー食道ー胃ー腸のー管チェックを実行することを決意した。私は之こそ「天の声」以外の何物でもないと今でも信じている。

そして「のど」「食道」チェック無事終了。次の「胃」のチェックで、何年ぶりかで胃カメラをのんだら胃の上部に出来た潰瘍を発見。組織検査の結果、至急入院、手術ということになり、「胃の全摘」即ち「胃無し」男になった次第。そしてその結果は、

- (1) 体重15kg以上減少、体型スリム化しそれまでの私の愛称「ブーちゃん」を返上し、面相も大いに変わったので、急遽パスポートやクラブ、ロースターの写真貼り変え実行。
- (2) 胆汁機能の変化で、胆石痛発生。之が猛烈な痛さを伴い、胃手術の2年半後、遂に胆嚢摘出手術実施。(当クラブ会長をしている時)腹部にタテ(胃)、ヨコ(胆嚢)の十文字割腹跡発生。
- (3) 喫煙ストップ、又飲酒はアルコール分がすぐ腸にゆくので酔いの回りが早く、飲酒興味半減。
- (4) 食物による「つかえ」発生。特に固めの米飯や麺(冷やご飯、そば、ラーメン、スパゲッティ)は難敵。又カレー等の刺激物も「つかえ」発生に影響する。
- (5) 油っこい食べ物を多く摂ると「もたれ」発生。又消化液(胃酸は無い)の逆流にも要注意で、枕を高くして寝るクセがついた。

従って、クラブ例会で「カレーの日」に私だけが「サンドウィッチ」を食べている姿を見かけられると思うが、上記のことが原因である。しかし、悪いことばかりではない。「胃なし」男になって良くなった点は、

- (イ) 肥り過ぎが解消して、「血圧正常化」、「血液検査値正常化」となる。
- (ロ) 喫煙、飲酒の自粛で体調の良好さ維持(夜の歩歩き激減)。
- (ハ) 臓器の一つや二つ無くしても、人間は何とか生きてゆけるものと自信が持てた。
- (ニ) 「天の声」があって、それを実行したからこうして元気に、生かして頂いているとの感謝の気持ちが一杯で、この世の中に奉仕して「お返し」をしたいと痛感するようになった。

(ホ)そして何よりも、私の信条である「無理は禁物、自然体が第一」が、更に徹底出来る様になったことは、何よりのプラスだと思っている。

ストレスが、健康上何よりの大敵であると思う。その解消法として、ロータリークラブで色々な業界の方々と損得抜きでお付き合い出来るのが、何よりの解消法だと信じているが、皆さん如何ですか?

「日本の地区がカンボジアの地雷撤去を支援」

「ロータリーワールド」2002年9月号より
世界中に埋められている1億以上の地雷の中、およそ10%はカンボジアにあります。

この地雷によって1,000人を超えるカンボジア人が命を落とし、負傷しています。

ロータリー・クリアー・ランド・プロジェクトを通じて、第2580地区(日本)のロータリアンはカンボジアのシェム・リアップの村に安全を取り戻す援助をしています。農業を再開させ、家と学校を建設できるようにしています。東京RCの会員5名によって設立された人道目的の地雷除去支援の会(JAHDS)は、地区全体の推進計画を先導しています。JAHDSは、地雷除去を専門とする英国の非政府組織Halo Trustと協力しています。

最初のロータリー・クリアー・ランド・プロジェクトは2001年12月に完了し、村の地雷を除去しました。以前、1,000人の住民が20年にわたるクメール・ルージュと政府軍の間の闘争によって村から立ち退かされました。プロジェクトによって住民は村に戻る事ができたのです。

2回目のロータリー・クリアー・ランド・プロジェクトは500の地雷と不発弾を近隣のタ・シェムの村から除去しました。何百人もの村人が、ロータリーの97周年ならびに世界理解と平和の日である2002年2月23日の、プロジェクトの完了を記念する特別の祝賀行事に出席しました。

日本のロータリアンは、2つのロータリー・クリアー・ランド・プロジェクトの資金を調達するために5,000万円を募金(約米貨40万ドル)し、3回目のプロジェクトの支援が現在進行中です。「推進計画は、できるだけ土地を良好な状態に戻し、地雷の犠牲者の数を0に減らすよう企画されています」と岡崎氏は言います。

【次週予告】11月1日 第769回例会

◎次年度(2003~2004年度)理事・役員候補者指名

◎卓話予定

「地雷被害に苦しむ人々のために
——今、日本にできること」

特定非営利活動法人 人道目的の地雷除去支援の会
常任理事・事務局長 富田 洋氏

東京新南ロータリークラブ (<http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth>)

〔会長〕吉田用親 〔副会長〕小杉修造 〔幹事〕吉岡琢磨 〔会報委員長〕圓谷正和 〔今週の担当〕高須康有
事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111